

日本発ドイツ便り : Schwarzfahren

ドイツ語で Schwarz (シュヴァルツ) は色の「黒・黒い」のことです。黒猫は Schwarze Katze (シュヴァルツェ・カッツェ)。ドイツの有名な「黒い森」は Schwarzwald (シュヴァルツヴァルト)。ちょっと脱線しますが、日本では映画とか写真のフィルムとか「白黒」といいますがドイツでは Schwarz-Weiß (シュヴァルツヴァイス) と「黒白」という順番になります。

あっけなく本題に戻りますが、題名の Schwarzfahren (シュヴァルツファーレン) とは？

ドイツ語のいわゆる「口語」で、公共交通機関の「不正乗車」とか「無賃乗車」のことです。Fahren ohne Fahrkarte 「切符なしで乗車する」こと。の意味です。

(他にも名詞の前に Schwarz-と付くと何かしら「不正な」という意味合いになります。例えば Schwarzarbeit (不法就労) とか Schwarzgeld (裏金) 等。)

日本だと一般的に、電車に乗るには、まずは駅に入る時点で切符を持って改札を通る必要があるのも、よっぽど意図的でないと無賃乗車は難しいと思いますが、ドイツをはじめヨーロッパ諸国では、もともと「神様は全てを見ている(だから悪いことはしてはいけない)」というキリスト教的な抑止力があるのに加え、特にドイツ人は「明文化されたルールはきちんと守る」という気質もあり、もちろん、改札を新規で作るとなると設備投資のための莫大な資金等の問題もあって「導入しよう」という話はなさそうです。駅はもちろん出入り自由。電車もバスでも路面電車でも切符を持っている・持っていないに関係なく、誰でも簡単に乗り降りできてしまいます。(例外的に、連結じゃない通常のバスは乗車時に運転手さんに切符を見せるかな。)

ドイツ版新幹線 ICE など、特急料金の必要な列車では必ず車内検札がありますが、その他のドイツのローカル列車では、長距離の路線を除けば、車内検札はそう頻繁に行われているわけではありません。でも、油断して調子に乗って Schwarzfahren していると、なぜかそんな時に限って検札にやっ来てたりするものです。(Schwarzfahren する人のことは Schwarzfahrer と呼びます)

この車内検札、なかなか徹底していて、ある駅から各車両の扉あたり 2 名ずつ位の検札員が一気に乗り込んできて、ドアが閉まって発車すると同時に検札開始です。次の駅まで 3 分以上かかるようなちょっと長めの駅間の区間とか、その駅を境に料金ゾーンが変わるような駅間が選ばれることが多いように感じます。で、全乗客の切符を調べ終わったら、次の駅で一斉に検札員達は罰金対象の人を連れて下りていくのです。

以前は、カモフラージュのためか、買い物袋からネギが出ているようなおばちゃんとか、レゲエの人みたいな恰好の人が、扉が閉まると突然 ID カードを出して「切符を確認します」とか言い出してはビックリした

ものですが、今ではちゃんと一目で「検札の人」と分かるような制服を着ていることが多いようです。(もちろん地域によって違うので、今でもネギのおばちゃん活躍中かもしれません。)で…うっかりチケットを持っていなかったら?? その場でもれなく罰金! です。

これはフランクフルト交通局の、ある意味「伝説レベル」の恥ずかしい広告なんです、
“FAHR NIE OHNE”

要は「下着なしで外を歩かないように、切符なしで電車に乗ったらあかんよ。」と、言わんとすることは分かんなくてもいいですが…。



ここで見て頂きたいのは、公共交通機関の広告に「下着なしの写真」を使ったこと。ではなく罰金の額。私の覚えている限り Schwarzfahren の罰金はずっと 40 ユーロだったのですが、いつの間にか大幅に値上げされていました。2016 年 12 月現在 60 ユーロです。これは言葉が分からなかったとか、システムが分からなかったとか、切符の買い方が分からなかったとか、どんな理由をつけても免除されることはない罰金です。なので、切符は忘れずに購入しましょうね。☺



60 ユーロか～。高くなったもんだなあ。と思っ
たら、もっとすごいところがありました。⇒

お隣の国、オーストリアの首都ウィーンでは、と
ってもわかりやすいポスターですが、なんとこ
ちらも、罰金急騰で 103 ユーロ！いつの間にか？

駅によってはチケットの販売機が故障していたり、小銭しか使えなかったり、チケットを買うまでに結構時間がかかったりします。急ぐときは特に、事前に購入しておくか、急がないときは 1 本電車を遅らせてでも、ちゃんとチケット購入しておくことをお勧めします。ドイツ・オーストリアのローカル公共交通機関は、1 枚のチケットで電車も地下鉄もバスも路面電車も全部共通で使えて便利です。1 区間の料金は結構高めですが、だいたい 3 回使えば元が取れる Tageskarte (ターゲスカルテ：一日チケット) とか 24 Stundenkarte (24 シュトゥンデンカルテ：24 時間チケット) なんかがお得で観光にも便利です。

今日はドイツ語を一つ覚えましたね。Schwarzfahren。でもやっちゃだめですよ☺



鉄道つながりで…。夜のフランクフルト中央駅と駅の中のクリスマスツリーです。